



平成30年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年3月12日

上場会社名 株式会社菊池製作所 上場取引所 東
 コード番号 3444 URL <http://www.kikuchiseisakusho.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 岸田 俊邦 (TEL) 042(651)6093
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第3四半期の連結業績(平成29年5月1日～平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第3四半期	3,966	6.1	△236	—	△288	—	△72	—
29年4月期第3四半期	3,739	△10.7	△914	—	△882	—	△264	—

(注) 包括利益 30年4月期第3四半期 △182百万円(—%) 29年4月期第3四半期 △251百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	△5.90	—
29年4月期第3四半期	△21.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第3四半期	9,855	7,198	71.2
29年4月期	10,000	7,467	72.1

(参考) 自己資本 30年4月期第3四半期 7,013百万円 29年4月期 7,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年4月期	—	0.00	—	—	—
30年4月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日～平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,074	4.9	20	—	57	—	82	△63.1	6.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年4月期3Q	12,337,700株	29年4月期	12,337,700株
30年4月期3Q	312株	29年4月期	312株
30年4月期3Q	12,337,388株	29年4月期3Q	12,337,388株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、好調な企業業績による設備投資の回復等により緩やかに回復傾向が見られます。一方、海外では米国の保護主義的な政策動向や地政学上のリスクをはじめとする様々な懸念が指摘されるものの、全体的には緩やかに持ち直す傾向が見られます。

このような環境の中、当社グループ製品が属する情報通信機器、精密電子機器業界におきましては、熾烈な競争状態や為替相場の不安定性等の要因により、その業績に確固たる見通しは持ち得ない状態にあります。電気自動車、医療機器、各種ロボット業界への受注拡大を図っております。新規開発の試作品製造や製品の量産製造を推進しており、自社一括一貫体制による、プロダクトデザイン、機構設計、金型製作、成形、加工にわたる製造工程と、「匠の技」と先端設備の融合による技術力をベースに、事業活動を展開しております。取引先の要求を満たしうる技術水準、品質、納期に対し、より一層の対応力を涵養することにより、メーカーからの信頼性を確保し、競合他社との差別化を徹底する事業戦略を遂行しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高及び受注は、携帯電話、デジタルカメラ等の情報通信機器、精密電子機器メーカー、並びに複写機、プリンタ等の事務機器メーカーの研究開発及び生産の状況等厳しい経営環境を受け、量産品製造の受注価格についても低水準の推移となりましたが、新規開発試作品製造、金型製造に於いては緩やかではありますが回復傾向にあり、受注が拡大してまいりました。一方、ロボット関連製品については、当社グループの独自製品であるマッスルスーツ、ドローンなどの拡販が伸び悩み低水準で推移しました。引き続き当社事業の成長に資するための研究開発活動として、マッスルスーツ、メタルマイクロポンプ、ドローン、災害対応ロボット等をはじめとした介護・医療分野及びロボット分野における技術の研鑽に積極的に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,966百万円(前年同四半期比6.1%増)となり、利益面につきましては、売上総利益は716百万円(同143.9%増)、営業損失は236百万円(前年同四半期は営業損失914百万円)となりました。以下、受取補償金、スクラップ売却収入、受取配当金等の営業外収益77百万円(前年同四半期比31.1%減)を加算し、持分法による投資損失、シンジケートローン手数料、為替差損及び支払利息等の営業外費用128百万円(同59.3%増)を減じた結果として、経常損失は288百万円(前年同四半期は経常損失882百万円)となりました。

さらに、特別利益として、投資有価証券売却益215百万円、福島第7工場の用途変更に伴う補助金の返還に伴う固定資産圧縮額戻入益164百万円、固定資産売却益6百万円、特別損失として福島第7工場の用途変更に伴う補助金返還損164百万円、固定資産売却損11百万円、投資有価証券評価損9百万円等を計上し、税金費用を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は73百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失264百万円)となりました。

なお、当社グループは「金属製品加工事業」の単一セグメントのためセグメント別の記載を省略しております。

参考：製品別売上高

(単位：百万円、%)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年5月1日 至 平成30年1月31日)	増減率
試作・金型	1,971	2,435	23.5
量産	1,365	1,298	△4.9
ロボット・装置等	402	229	△43.0
その他	0	3	331.6
合計	3,739	3,966	6.1

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産に関する事項

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、9,855百万円となり、前連結会計年度末比145百万円の減少(前連結会計年度末比1.5%減)となりました。うち、流動資産は、5,582百万円となり、前連結会計年度末比473百万円の減少(同7.8%減)となりました。これは、現金及び預金が342百万円減少(同10.5%減)、受取手形及び売掛金が266百万円減少(同19.3%減)したことが主因となっております。固定資産は4,271百万円となり、前連結会計年度末比329百万円の増加(同8.3%増)となりました。

負債合計は、2,656百万円となり、前連結会計年度末比123百万円の増加(前連結会計年度末比4.9%増)となりました。うち、流動負債は、2,035百万円となり、前連結会計年度末比83百万円の増加(同4.3%増)となりました。これは、短期借入金が368百万円増加(同73.7%増)、支払手形及び買掛金が236百万円減少(同33.2%減)したことが主因となっております。固定負債は、621百万円となり、前連結会計年度末比40百万円の増加(同6.9%増)となりました。

純資産は、7,198百万円となり、前連結会計年度末比268百万円の減少(同3.6%減)となりました。これは、利益剰余金が159百万円減少(同3.8%減)したことが主因となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成29年6月14日に公表いたしました数値に変更はありません。

なお、当社の業績は、事業環境の変化等、現在および将来において様々なりリスクにさらされております。本業績予想に織り込まれていない事象が発生し、財務上重要な影響があると判断した場合には、適宜ご報告いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,278,709	2,935,712
受取手形及び売掛金	1,384,574	1,117,977
電子記録債権	486,202	511,169
商品及び製品	87,574	99,831
仕掛品	314,463	520,868
原材料及び貯蔵品	201,430	156,846
繰延税金資産	15,660	3,899
その他	296,060	250,139
貸倒引当金	△8,126	△13,791
流動資産合計	6,056,550	5,582,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,626,719	2,875,187
減価償却累計額	△1,257,441	△1,306,135
減損損失累計額	△341,395	△341,395
建物及び構築物(純額)	1,027,883	1,227,657
機械装置及び運搬具	3,150,914	3,202,392
減価償却累計額	△2,250,689	△2,379,038
減損損失累計額	△123,253	△123,253
機械装置及び運搬具(純額)	776,971	700,100
工具、器具及び備品	614,323	628,739
減価償却累計額	△513,320	△541,740
減損損失累計額	△11,107	△11,107
工具、器具及び備品(純額)	89,895	75,892
土地	612,049	594,575
リース資産	1,429	1,390
減価償却累計額	△1,429	△1,390
リース資産(純額)	—	—
建設仮勘定	—	93,121
有形固定資産合計	2,506,800	2,691,346
無形固定資産		
ソフトウェア	35,249	29,640
その他	4,061	3,926
無形固定資産合計	39,311	33,567
投資その他の資産		
投資有価証券	1,271,997	1,440,937
長期貸付金	6,500	6,500
繰延税金資産	3,301	3,390
その他	122,004	106,117
貸倒引当金	△7,068	△9,944
投資その他の資産合計	1,396,734	1,547,001
固定資産合計	3,942,845	4,271,915
繰延資産	1,157	887
資産合計	10,000,553	9,855,457

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	712,637	475,748
短期借入金	500,000	868,746
1年内返済予定の長期借入金	189,352	180,947
未払金	124,030	250,286
未払費用	127,092	110,202
未払法人税等	116,997	13,776
賞与引当金	52,976	51,636
預り金	23,667	34,602
その他	105,119	49,533
流動負債合計	1,951,874	2,035,478
固定負債		
長期借入金	128,508	56,030
役員退職慰労引当金	343,455	346,508
退職給付に係る負債	16,323	15,593
資産除去債務	3,697	3,745
繰延税金負債	60,268	82,472
その他	28,844	116,912
固定負債合計	581,097	621,264
負債合計	2,532,971	2,656,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,303,843	1,303,843
資本剰余金	1,444,429	1,444,429
利益剰余金	4,200,899	4,041,788
自己株式	△86	△86
株主資本合計	6,949,086	6,789,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	347,214	325,873
為替換算調整勘定	△88,215	△103,692
退職給付に係る調整累計額	974	852
その他の包括利益累計額合計	259,973	223,033
非支配株主持分	258,522	185,705
純資産合計	7,467,582	7,198,713
負債純資産合計	10,000,553	9,855,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
売上高	3,739,969	3,966,539
売上原価	3,446,031	3,249,771
売上総利益	293,937	716,768
販売費及び一般管理費	1,208,325	953,667
営業損失(△)	△914,388	△236,899
営業外収益		
受取利息	1,219	1,070
受取配当金	22,780	26,327
助成金収入	5,424	1,981
スクラップ売却収入	18,336	16,857
受取補償金	46,823	22,547
その他	17,469	8,406
営業外収益合計	112,054	77,189
営業外費用		
支払利息	5,580	5,938
為替差損	17,331	8,090
持分法による投資損失	6,349	99,190
シンジケートローン手数料	7,420	12,110
二本松工場遊休賃借費用	32,652	—
その他	11,277	3,122
営業外費用合計	80,612	128,451
経常損失(△)	△882,947	△288,161
特別利益		
投資有価証券売却益	—	215,680
固定資産売却益	99	6,272
固定資産圧縮額戻入益	—	164,015
受取補償金	511,203	—
特別利益合計	511,303	385,967
特別損失		
投資有価証券評価損	—	9,493
固定資産売却損	—	11,526
固定資産除却損	254	239
補助金返還損	—	164,015
特別損失合計	254	185,274
税金等調整前四半期純損失(△)	△371,898	△87,468
法人税、住民税及び事業税	17,180	31,898
法人税等調整額	△53,153	26,200
法人税等合計	△35,972	58,098
四半期純損失(△)	△335,925	△145,566
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△71,792	△72,817
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△264,132	△72,749

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
四半期純損失(△)	△335,925	△145,566
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,407	△21,341
為替換算調整勘定	24,155	△15,477
退職給付に係る調整額	△146	△121
その他の包括利益合計	84,416	△36,940
四半期包括利益	△251,508	△182,506
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△179,716	△109,689
非支配株主に係る四半期包括利益	△71,792	△72,817

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、「金属製品加工事業」の単一セグメントであるため記載を省略しております。